

な

ご

み

っ

う

し

ん

発行日：平成 29 年 7 月 24 日（第 31 号）

発行：島田療育センターはちおうじ

ぴっぽさんは、中学 2 年生になりました。入学当初は元気に通っていましたが、今は不登校状態が続いています。そんな気持ちの続きを書いてくれました。

所長 小沢 浩

どうして学校に

行けなくなったか（2）

（ぴっぽ）

心の教室に行ってカウンセラーの人と話をし、時々担任の先生と話をします。担任の先生から「心の教室に行けたのなら教室にも行ったらどうだ」と言われたけど、なんか心の教室に行くのと教室に行くのはちがうような気がするなあと思います。

授業のあいまに友達が来てくれたりし、給食から教室に行こうと思い、思い切って教室に行ってみました。最初はみんないつもみたいに話してくれて、でもだんだん話をしてくれなく

なり、今は 2 人だけ話しかけてくれます。私が話しかけてもみんな無視をしたり、顔を見てすぐどこかに行ってしまうたりして、今はもう無視されるのがいやだから 1 人で本を読んだりしてあまり人に話しかけないようにしています。

でも前にみんなが話しているのを見て楽しそうだなと思い話しかけたら、

「空気読んでよ！」「じゃま」と言われ、つらくなり授業中泣いてしまいました。他にも

「どうして教室きたの？」

とかものすごい目でにらまれたり、

「死んどけ」

とか

「特別支援に行けば」

「精神科に行った方がいいよ」

「手グロいね」

とか

「変な子に思われないようにね」



とか言われます。

言われたことをカウンセラーさんに話すと

「よくがんばったね」

と言われ、私が思いもよらない言葉が出てきてびっくりしました。私は「死ね」と言われた時はきずついたけど、あとは別に「ああ、そうか」と思うだけで別につらくなかったです。よく「死ね」とふざけて言う人がいるけど、初めて言われた時はもうぜったい思っても言わないでほしいと思いました。

先生は

「みんな出来ないんだから大丈夫」と言うけどそれはちがうんじゃないのかと思います。それじゃ、まるでできない子見ずできる子を見てまとめて「できない」という言葉で表しているだけでは？と思います。できないというのでは個人差があるし、できることでも少し苦手という人をもう少し見てほしいと思います。

不登校児を対象にした通級学級に行き始めて、みんな

「おはよう」

と言ってくれて、その場所がいやとか好きとかではなくて、

「ああ、私ここにいるんだ」



そう思っています。学校に行くのと不登校児を対象にした通級学級に行くのはちがうなあと、今は他の学校に行こうかなと思っています。その学校は、楽しそうだというのが一番思っていることです。よく楽しかったことは？と聞かれ、とくにないなあと、他の学校へ行けば楽しい事があるのかもと思います。

みんな勉強しているのに私はただ楽しむことしか考えなくて、じゃあ勉強教室で受ける？それはつらい。じゃあどうすると考えて混乱し結局学校に行けないと思うことが多くなりました。

（奇跡がくれた宝物 小沢浩著

クリエイツかもがわ より）

